

# 「年末御挨拶」

令和2年12月21日

- 12月21日（月）冬至の夜、そうか光生園南西の上空で木星と土星が大接近した様子を見ることができました。
- 木星と土星は太陽の周りを回る惑星で、20年に1度の頻度で地球から見ると一直線に並んで接近するそうですが、今回のように肉眼で二つの星を区別するのが難しいほど近づくのは1623年以来、397年ぶりということですから（次は60年後）。



- 今年は春先から国内で新型コロナウイルスの感染が広がり、利用者の皆さまをはじめ多くの方々には、様々なことで例年以上の御理解をお願いしなければならぬ中、御協力いただいていることに改めて御礼申し上げます。
- 私たち人間がかの惑星のように近づいて生活するのには、もうしばらく時間がかかりそうですが、来年の干支「丑」にちなんで粘り強く対応していく所存です。
- 皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えになりますよう心からお祈り申し上げます。

園長 矢作 浩之



光生園玄関ロビーのツリー